

日時： 2019年6月28日（金）18時～20時45分

会場： 東海学園大学 203 大会議室

出席者（敬称略）： 湯川進太郎（理事長）、樋口匡貴（副理事長）、金築優（事務局長）、阿部恒之、有光興記、伊藤義徳、岩佐和典、大平英樹、河野和明、北村英哉、木村健太、手塚洋介、戸梶亜紀彦、中村真、成田健一、一言英文

委員長への委任： 稲垣勉、岩永誠、大竹恵子、澤田匡人、蔵永瞳、鈴木まや

### 【審議事項】

#### 1. 倫理問題についての調査委員会報告（常任理事会）

- ・伊藤義徳前倫理委員長から、倫理問題に関する調査委員会での調査結果の報告がなされた。
- ・慎重な審議の結果、本件は二重投稿であると認定した。これに伴い、投稿論文は「不採択」とし、理事長名と編集委員会委員長名の連名で被調査者に通知することになった。
- ・理事長が被調査者に対して厳重注意を行うことになったが、その際、倫理問題の重さを踏まえて、被調査者には共著者と共に、厳重注意の書面を直接受け取りにくるよう求めることが決定した。
- ・本件は、ニューズレターや学会 HP 等において会員に報告することになるが、その際、被調査者名は伏せるが、倫理問題の重さを踏まえて、論文名は記載することが決定した。なお、これらの審議結果については、理事会においても報告された（論文名については後日常任理事会にて再審議され、7月26日をもって論文名は掲載しないことに決定した）。

#### 2. 臨床発達心理士資格認定運営機構からの脱退

- ・中村前理事長から 2019 年度中での臨床発達心理士資格認定運営機構からの脱退について提案がなされ、承認がなされた。これに伴い、臨床発達心理士資格認定運営機構の理事である湯川理事長と内山伊知郎先生、委員である永井智先生と原孝成先生の任期は 2019 年度一杯になる。
- ・中村前理事長から、臨床発達心理士資格認定運営機構からの脱退に伴う、「教育・発達」国家資格問題連絡協議会からの脱退について説明がなされ、承認がなされた。
- ・臨床発達心理士資格認定運営機構からの脱退に伴い、今後公認心理師養成大学教員連絡協議会へ加盟する方向で検討することとなった。

#### 3. 会則および各委員会規程の改定

- ・湯川理事長から、資料に基づき、会則、細則、学術プログラム委員会規程、機関誌刊行委員会規程および倫理委員会規程の改訂について説明がなされ、承認がなされた。

#### 4. 2018 年度の収支決算報告

- ・中村前理事長から、資料に基づき、2018 年度の収支決算報告がなされて、承認がなされた。また、監査については、伊波和恵、谷口高士両監事による監査の結果、適切に執行されていることが確認された旨、中村前理事長から報告された。

## 5. 2019 年度の予算案

- ・湯川理事長から、資料に基づき、2019 年度の予算案について説明がなされて、承認がなされた。

## 6. 2018 年度（第 26 回）大会（東洋大学）の収支決算報告

- ・戸梶前大会委員長から、2018 年度（第 26 回）大会（東洋大学）の収支決算報告がなされて、承認がなされた。なお、余剰金に関する大会からの寄付については、2019 年度決算の際に計上されることになる。

## 7. 来年度以降の大会開催

- ・湯川理事長から、以下の通り、2020 年度及び 2021 年度の大会を開催することが提案され、承認がなされた。なお、2022 年度（第 30 回）大会については、関西学院大学での開催ですでに承認済みである。

- ・2020 年度（第 28 回）大会 就実大学（大会委員長：岩佐和典先生）6 月 5,6,7 日に開催予定。
- ・2021 年度（第 29 回）大会 学習院女子大学（大会委員長：澤田匡人先生）

## 8. 編集委員会の委員交代（新委員就任）

- ・成田前編集委員長から、資料に基づき、以下の新しい感情心理学研究（JJRE）編集委員会の執行部新体制と新委員について説明がなされ、承認された。

- ・感情心理学研究（JJRE）編集委員会

坂井信之先生（東北大学） 副委員長

木村昌紀先生（神戸女学院大学） 事務局長

田上恭子先生（愛知県立大学）

箕浦有希久先生（同志社大学）

伊里綾子先生（放射線医学総合研究所）

菅原大地先生（筑波大学）

大隅尚広先生（国立精神・神経医療研究センター）

白井真理子先生（同志社大学）

- ・エモーション・スタディーズ（ES）編集委員会の新体制について、以下の通り、承認された。

- ・エモーション・スタディーズ（ES）編集委員会

中尾敬先生（広島大学） 副委員長

山本恭子先生（神戸学院大学） 委員

## 9. 会費未納による除名

- ・資料に基づき、会費未納者の確認が行われた。3 年間以上の会費未納となっている会員の除名が承認された。また、今後の会費未納の防止策について検討がなされた。関連して、会費納入状況と会員データベースの連動の必要性が議論された。特に論文投稿や大会参加、各種委員の就任に際して必要となる。

## 10. 常任理事の互選（3名）

- ・2019－2021年度の常任理事について、残り3名について理事による互選が行われた。被投票権者は、2013－2015年度と2016－2018年度の2期連続で常任理事を務めた4名の先生（有光興記先生、岩永誠先生、大平英樹先生、澤田匡人先生）と既に常任理事の7名を除く11名であった。3名連記によって投票がなされた結果、中村真先生、一言英文先生、北村英哉先生が選出された。

## 11. 日本感情心理学会と日本発達心理学会の共催シンポジウム

- ・成田常任理事から、日本発達心理学会第31回大会（2020年3月2～4日、大阪国際会議場）において、日本感情心理学会と日本発達心理学会の共催シンポジウムを開催することが提案され、承認された。

## 12. 学術貢献賞の自己申告制への移行

- ・成田前編集委員長から、資料に基づき、学術貢献賞受賞規程について、受賞候補者に「エモーション・スタディーズ」掲載論文著者を含めること、また、選考は、該当する会員から事務局への自己申告を受けて、機関誌刊行委員会が行うことに改正する提案がなされ、機関誌刊行員会において引き続き検討することとなった。

### 【報告事項】

#### 1. 会勢報告

- ・資料に基づき、湯川理事長より、現在の会勢が報告された。

#### 2. 各委員会報告

- ・機関誌刊行委員会（感情心理学研究／エモーション・スタディーズ）
  - ・感情心理学研究
    - ・成田前編集委員長より、資料に基づき、編集委員会活動についての報告が行われた。また、学会誌への投稿数および審査状況の推移、倫理関連の検討、追試研究・ネガティブリザルツWGの活動、Similarity checkの活用等についても報告がなされた。
    - ・戸梶編集委員長より、今後の編集予定について報告がなされた。
  - ・エモーション・スタディーズ
    - ・手塚編集委員長より、エモーション・スタディーズの今後の編集予定について報告がなされた。
- ・学術プログラム委員会（年次大会／出版）
  - ・河野学術プログラム委員長・大会委員長より、第27回大会の開催状況について報告がなされた。
  - ・有光学術プログラム委員（出版担当）より、ハンドブックの編集状況について報告がなされた。2019年9月11日から開催される日本心理学会第83回大会までに出版予定であり、また、日本心理学会第83回大会においては、ハンドブックに関連したワークショップを開催することを企画している。
- ・倫理委員会

- ・特になし。

### 3. 表彰関係

- ・湯川理事長より、感情心理学研究優秀論文賞並びに大会発表賞各賞について報告がなされた。受賞者は以下の通りである。

- ・優秀論文賞：岡隆之介先生（共著者：楠見孝先生）

題目：感情比喩の理解に及ぼす聞き手の当事者性

- ・学術貢献賞：長谷川晃先生

対象論文：24 巻 2 号（吉本貴博・長谷川晃）大学生の一般的信頼が精神的健康の改善を導くメカニズム—信頼の解き放ち理論に基づく検討—

25 巻 1 号（小澤崇将・長谷川晃）自己反すうと自己内省が社交不安に及ぼす影響—4 週間の間隔を空けた縦断的検討—

26 巻 2 号（田中奈津美・長谷川晃）大学生の両親に対する行動と両親からのソーシャル・サポート，家族機能，抑うつとの関連

- ・大会発表賞

- ・優秀研究賞：岩佐和典先生（共著者：小松孝徳先生）

題目：行動免疫からみた視覚的濡れ感の心理物理学的基盤 — 一対比較法による再現実験 —

- ・優秀研究賞：小林亮太先生（共著者：笹岡貴史先生，宮谷真人先生，中尾敬先生）

題目：内受容感覚の鋭敏さは感情制御を促進する

- ・独創研究賞：箕浦有希久先生（共著者：高野裕治先生，小西行郎先生）

題目：赤ちゃんの自尊感情を測る — 競争場面での誇りの表出に注目した基準関連妥当性の検討 —

- ・グッドプレゼンテーション賞：山本品友先生（共著者：樋口匡貴先生）

題目：恩恵の相対的な大きさが感謝体験者の行動に及ぼす影響 — 利益の生じない練習セッションを比較基準とした検討 —

- ・精励発表賞：石井慎一郎先生，稲垣勉先生，榎原良太先生，菅原大地先生，河野和明先生，沼田恵太郎先生，福田哲也先生

### 4. その他

- ・手塚エモーション・スタディーズ編集委員長より，エモーション・スタディーズでの予算の活用について提案がなされた。
- ・阿部理事から，公認心理師養成大学教員連絡協議会及び公認心理師養成機関連盟の動向についての情報提供がなされた。
- ・中村前理事長から，日本感情心理学会学術プログラム委員会承認企画である「感情の定義の多義性を考える」調査について，周知がなされた。本調査は，日本感情心理学会の学会員を対象としており，回答期間は，2019年6月28日～8月31日である。

以上